

2 目標達成計画

作成日：平成 23 年 2 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	日頃入居者と関わる際に、声が大きくなり、威圧的に感じられる事がある。	大きな声で話をするのではなく、近くにてゆっくりとした雰囲気ですることが出来る。	・なぜ、大きな声での声掛けや話がプライバシーや尊厳に関わってくるのかを知る。 ・大きな声で話をされるとどれ程の威圧感を感じるのか体験する。 ・研修会にてプライバシーの確保と尊厳について再確認する。	6ヶ月
2	36	入居者の行動を無意識のうちに制限する様な声掛け、行動をとり、入居者が何をしたいかして行動しているのかを考え知ろうとする必要がある。	常に利用者の立場になり、考え行動できるようになる。	・どの様な時に制限する声掛け、行動が考えられるかを事前アンケートを活用し把握したうえで、勉強会にて検討し日頃の自分を見直す。 ・研修会にてプライバシーの確保と尊厳について再確認する。	6ヶ月
3	23	日常業務の中で、入居者の思いや考えの変化を感じ取ってはいるものの、それを全職員が把握できていない為、今後はいつからどの様に変化があったかを把握できるシステム作りが必要。	嗜好・趣味など入居者の変化を誰が見てもすぐに把握できるようにする。	アセスメントシートの様式に流れを把握できるように追加する事で、情報を共有する事ができるようにし、月1回の会議の場で再確認をする。	6ヶ月
4	4	運営推進会議を振り返るにあたり、参加者、誰からの意見か、それについての返答が分かりにくかった。	分かりやすい議事録の作成	様式の変更	ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。